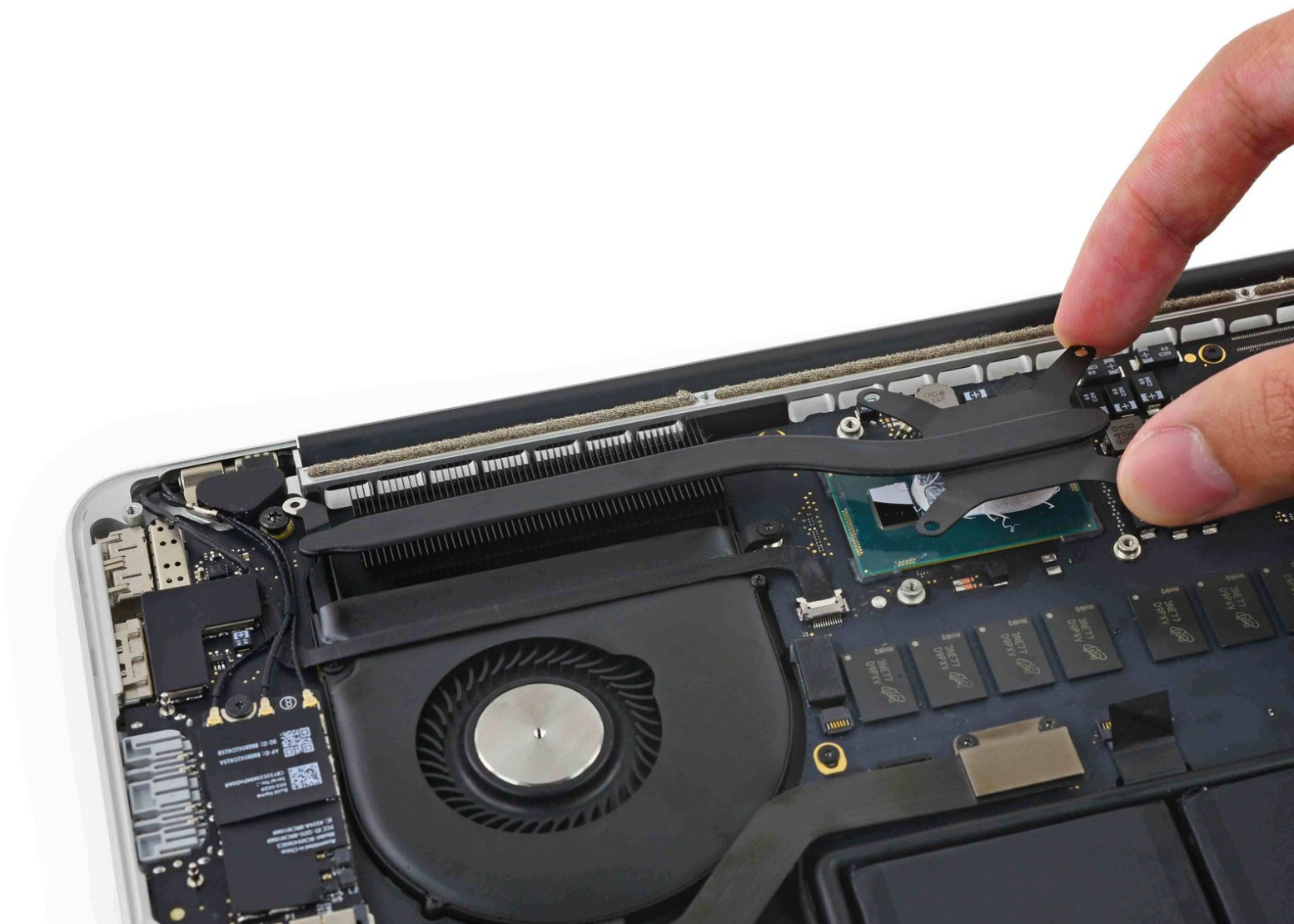




MacBook Pro 13インチ Retina Display Late 2013 ヒートシンクの交換

MacBook Pro 13インチ Retina Display Late 2013 のヒートシンクを交換します。

作成者: Sam Goldheart



はじめに

ヒートシンクを交換するにはこのガイドをご利用ください。

ヒートシンクを外したあと、[放熱グリスの装着方法](#) を参照のうえ作業を忘れずに行ってください。



ツール:

- [P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T5トルクスドライバー](#) (1)
- [#000 プラスドライバー](#) (1)
- [Arctic Silver 放熱グリス](#) (1)
- [Arctic Silver ArctiClean](#) (1)



部品:

- [MacBook Pro 13" Retina \(Late 2013\) Heat Sink](#) (1)

手順 1 — 底ケース



- 上部ケースと底ケースを留めている次の10本のネジを外します。
 - 2.3 mm P5ペンタローブネジ–2本
 - 3.0 mm P5ペンタローブネジ–8本
- この修理では、[各ネジの装着位置をメモ書きして管理](#)してください。再組み立ての際は、デバイスにダメージを与えないよう、正しい場所に装着してください。

手順 2



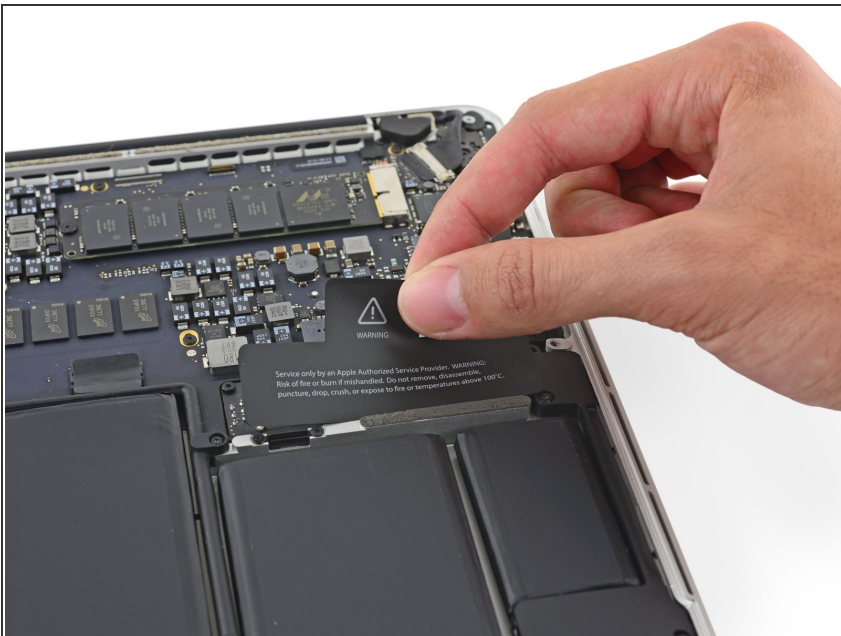
- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- ゆっくりと底ケースを上部ケースから離していきます。

手順 3



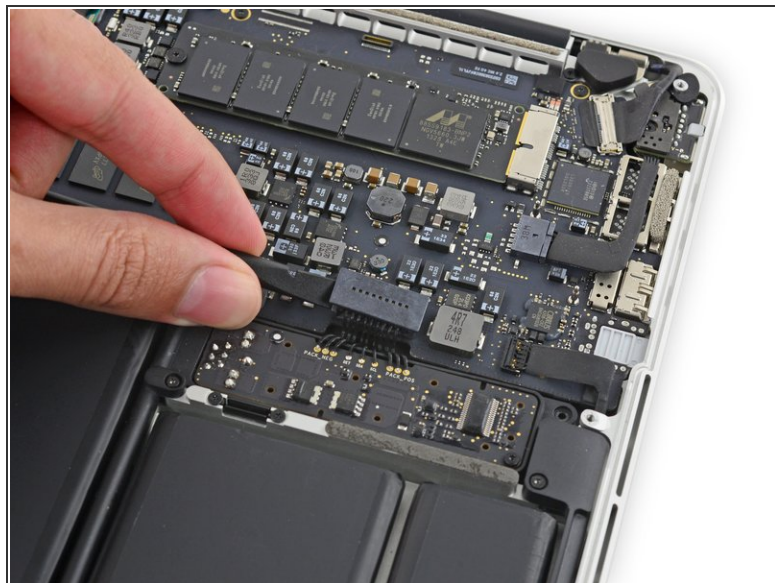
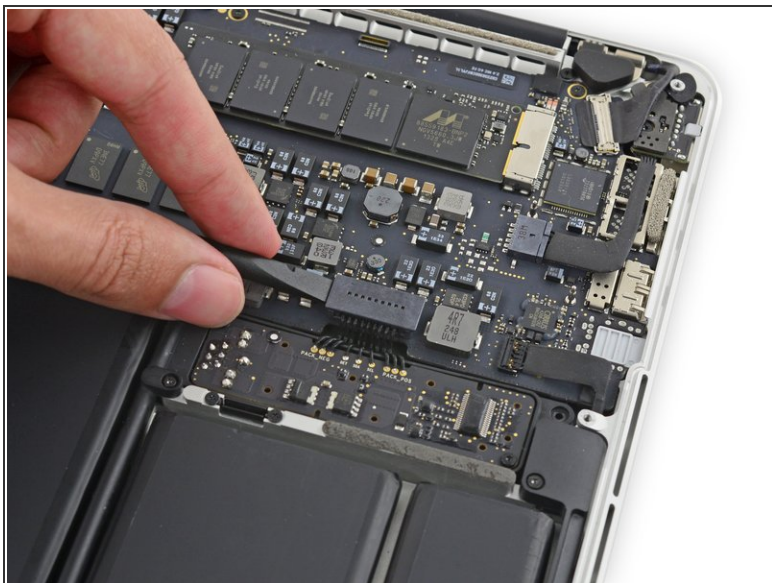
- ❗ 底ケースは上部ケースと2つのプラスチック製クリップで中央付近に接続されています。
- 👉 再組み立ての際は、丁寧に底ケースの中央を2つのプラスチック製クリップに接続するように押し込んでください。

手順 4 — バッテリーコネクター



- ❗ 必要に応じてバッテリーの接続ボードに留められているプラスチック製カバーを外してください。

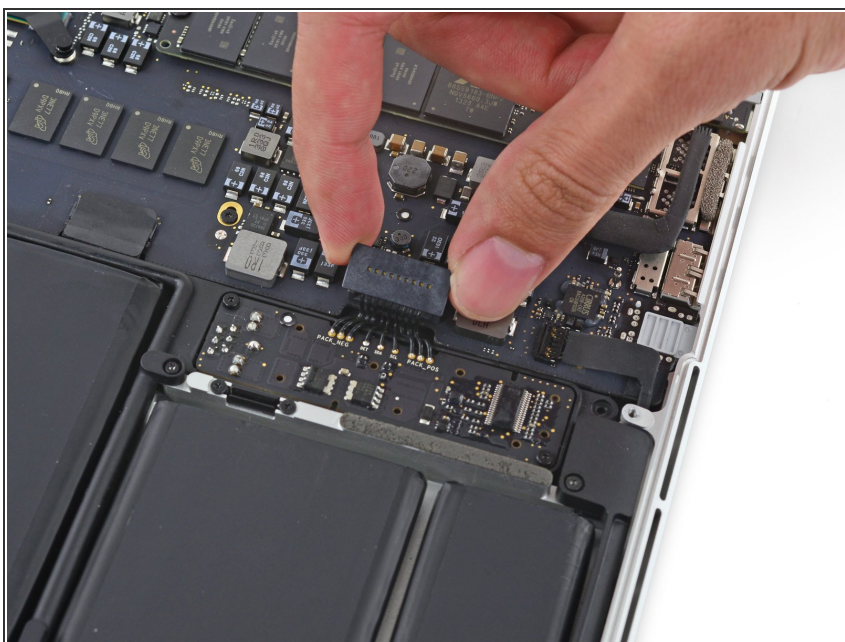
手順 5



- スパジャの平面側先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げます。

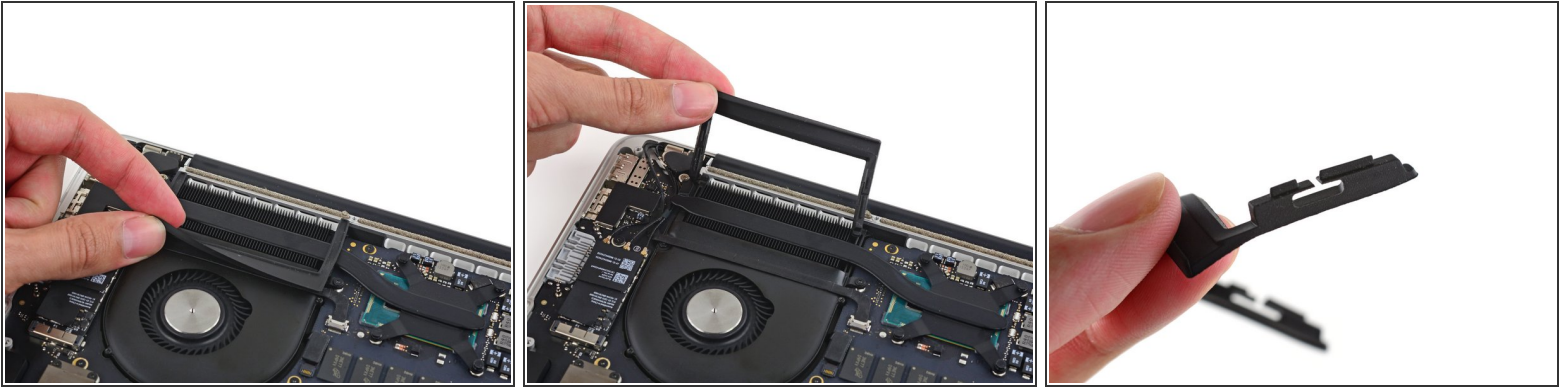
⚠ コネクタのみ持ち上げるよう確認しながら作業を進めてください。ソケットには接触しないでください。ロジックボードに永久的なダメージを与えてしまうことがあります。

手順 6



- ★ 修理作業中、アクシデントによりソケットがバッテリーコネクタに接続しないよう、折り曲げて邪魔にならない位置に移動させてください。

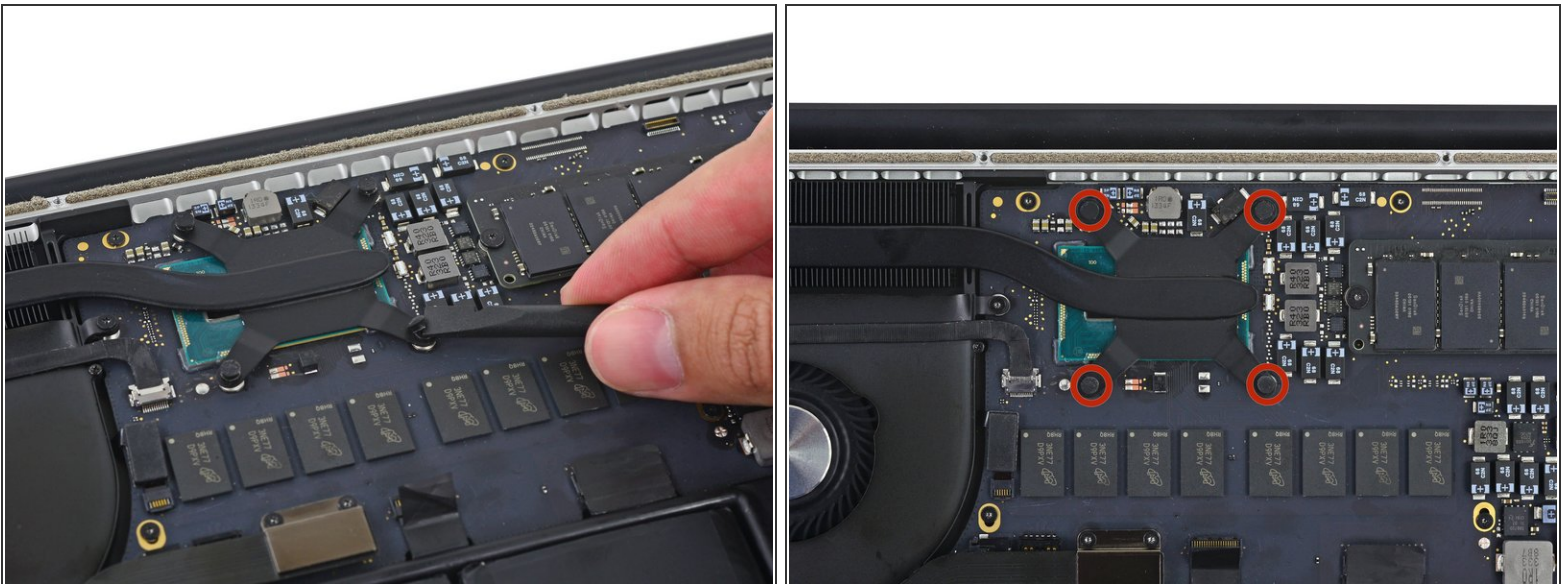
手順 7 — ヒートシンク



- ヒートシンクの端からゴム製のファン用バンパーを丁寧に取り出します。

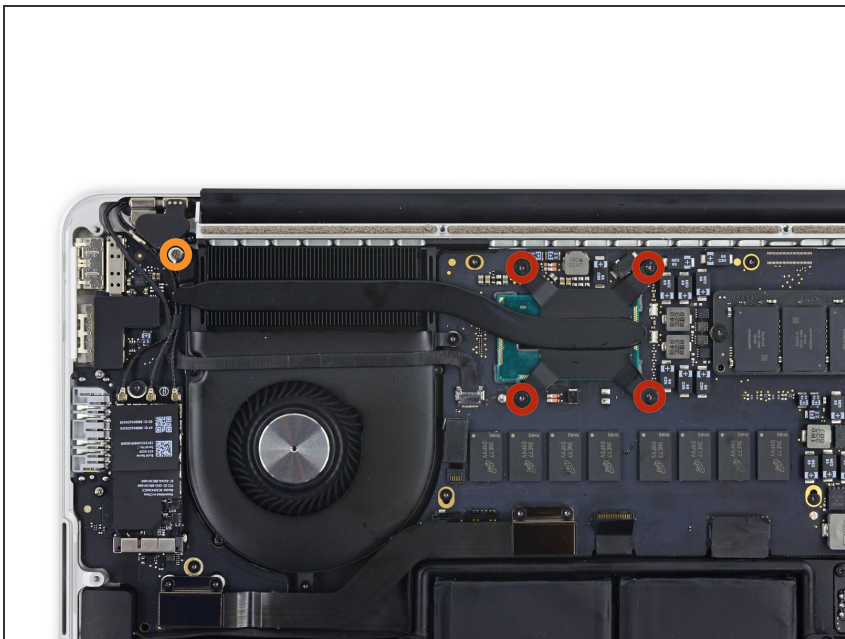
☑ ファン用バンパーはヒートシンクの周りに巻かれており、ファンダクトの溝に装着されています。再組み立ての際は、ファンダクトの切り込みにタブが正確に装着されているか確認してください。

手順 8



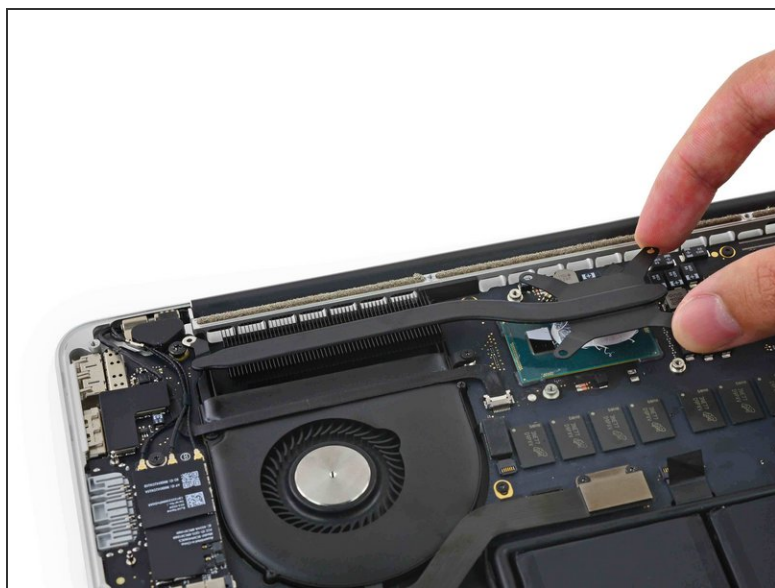
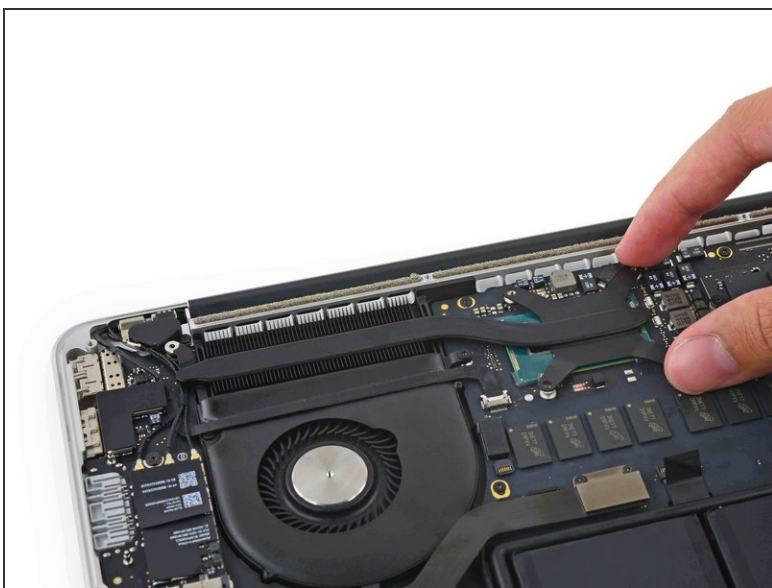
- スパジヤーの平面側先端を使って、ヒートシンクネジから4つのフォーム製のステッカーを剥がします。

手順 9



- ロジックボードに留められたヒートシンクから次の4つのネジを取り出します。
 - 2.6 mm T5トルクスネジ—4本
 - 2.4 mm #000 プラスネジ—1本

手順 10



- ラップトップからヒートシンクを取り出します。

☑ コンピューターを再組み立てする際は、[放熱グリスの装着手順](#)に従って、放熱グリスを付けてください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。